

■広報委員会だより

「小学生のための夏休み『自由研究』教室」(日本大学)での出展

広報委員会では、過去数年来、小・中学生を対象とした科学啓発行事に出展を行ってきています。今回は、恒例となりました日本大学工学部主催の「小学生のための夏休み『自由研究』教室」への出展報告です。今年は、平成27年8月8日(土)に日本大学駿河台校舎で開催され、500名を超える親子連れが訪れました。参加のねらいや経緯については、過去記事[1,2]に詳述されておりますので、そちらを



写真1 会場の様子。事前申込みの定員を超える大勢の小学生たちで埋め尽くされました。



写真2 プラズマボール、グライディングアーク装置。暗室の中で見た本物のプラズマの光は、きっと彼らの記憶に強く残ったことでしょう。



写真3 超伝導磁気浮上列車。超伝導によるピン止め効果でミニチュア列車が浮き上がり、逆さにしても落ちず、高速でループ型コイルの周囲を走ります。

ご参照ください。ここでは当日の様子を、写真を中心にお伝えします。

現地では、室賀常務理事、草間広報委員長、畑山、日渡、上野、浅井、水口の各広報委員および学会事務局から杉山さんが案内にあたり、また、日本大学浅井研究室の学生さん達にもご協力をいただきました。今回の出展にあたり、お世話になりました日本大学工学部ならびに浅井研の皆様、および展示物をご提供いただきました、日本原子力研究開発機構、核融合科学研究所の各位に感謝申し上げます。
(広報委員会)

参考文献

- [1] プラズマ・核融合学会誌 Vol. 85, 140 (2009).
- [2] プラズマ・核融合学会誌 Vol. 91, 120 (2015).



写真4 人工ダイヤモンド氷カッター。身近な氷がまるで何か別のもののように溶け切れることで、ダイヤモンドの高い熱伝導率を実感します。



写真5 注射器型火花放電装置。自分の腕力でピストン内の圧力を下げ、数kVの電極間にプラズマを作ります。



写真6 楽しい実験で興味をもった子は、充実したパンフレット類やクイズでさらに知識を深めます。